

排水施設のスリム化

自転車通行空間整備における自転車通行の安全性・円滑性・快適性の向上の視点から、排水施設（標準型の街きよ：エプロン幅 50cm）の改良をすすめています。排水施設の幅を縮小させ、自転車が舗装面を快適に通行できるようにしていきます。

自転車走行時の歩車道境界ブロックとタイヤの離隔は、ペダルの出幅 20cm と最小余裕幅 10cm を考慮すると、最小で 30 cm 程度(図 1 参照)になることから、エプロン幅を 25 cm 以下(図 2 参照)とすることで、舗装面を連続的に通行できるようになります。

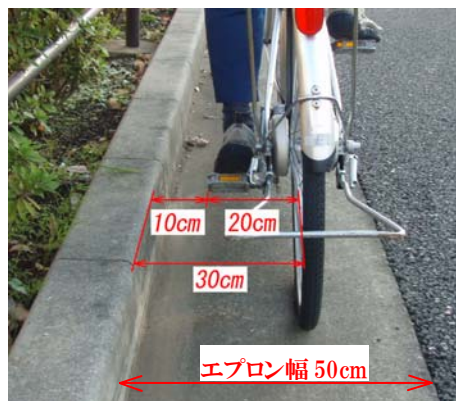


図 1. 歩車道境界ブロックとタイヤの
最小離隔(走行時)



図 2. 街きよのエプロン幅を 25 cm にした例
(自転車走行帯)